

ひと  
女

ひと  
男

男女が共に生きるメッセージ

パートナーシップ

問合せ先 秘書広報課男女共同参画推進室 ☎72-2111

## 農業分野における男女共同参画 誰もが働きやすい環境づくりのために

市は、すべての労働者がいきいきと働くことができる職場づくりを実現するため、農業分野の経営や政策・方針決定への女性の参画を推進しています。家族で経営を行っている農業者も多いことから、女性が男性と対等なパートナーとして活躍できる環境づくりを行っていくことが重要です。

こうした中、市内で農業経営を行う草場小夜子さんが、平成30年度農山漁村女性活躍表彰の女性地域社会参画部門で「優秀賞(経営局長賞)」を受賞しました。積極的に女性農業者の経営参画を推進する草場さんに話を伺いました。



草場小夜子さんの主な活動

昭和51年	結婚を機に就農
昭和55年	生活改善グループ「ひまわり会」(~現在)
平成 8年	家族経営協定(夫婦) 福岡県女性農業アドバイザーに認定 (~13年)
平成16年	認定農業者となる
平成17年	独自ブランドの開発
平成21年	小郡市男女共同参画社会推進審議会委員 就任(~26年)
平成27年	小郡市農業委員会委員就任(~現在)
平成29年	久留米地区農村女性グループ「アグリレ ディース・まどか」会長(~現在)

おごおり女性ホットライン  
☎092-513-7337

月~金曜日/午前10時~午後5時  
(祝日、12月29日~1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか?  
ひとりで悩まずに相談してください。

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに、専門の相談員が対応します。

### 夫は相談役であり、助け合えるパートナーであり、そして良きライバル

#### Q. 経営参画のきっかけは?

夫が洋ランの切り花栽培を始め、私も経営のパートナーとして栽培や経営管理に携わるようになりました。その後、独学で「ミニポットカーネーション」を栽培し、次第に担当をもつことにやりがいを感じるようになりました。

#### Q. これまでの活動は?

県久留米普及指導センターの指導のもと、市内の専業農家女性で結成した生活改善グループ「ひまわり会」で勉強会を行ってきました。平成8年からは、県の女性農村アドバイザーを務め、他地域のリーダーとの交流の中で、男女共同参画の学びも深まりましたね。

#### Q. 経営する中で工夫したことは?

現在、13人の従業員のうち9人は女性。休憩所やトイレを設置したり、勤務時間を幼稚園の時間に合わせたり、女性も働きやすい職場づくりを行っています。平成16年には、ハウス内の出荷調整室をバリアフリー化し、作業効率を考えた設計にしました。

#### Q. 家族の反応は?

夫の理解があったことはとても大きいです。夫は相談役であり、助け合えるパートナーであり、良きライバル。感謝しています。

#### Q. 今の活動で感じることは?

農業委員の活動は、農業の重要な部分に関わっている実感があり、大変勉強になっています。今後は、女性の経営参画を含め、後継者育成にも関わっていききたいですね。